

令和6年度 鷓川むかわ町水害タイムライン運用訓練



訓練の様子（むかわ町災対本部）

令和元年5月に策定された鷓川むかわ町水害タイムライン試行版を基に、出水期前に自治体および各関係機関の職員がタイムライン表の記載内容や運用手順、情報の共有方法等について確認を行うことにより、参画機関全体で鷓川むかわ町水害タイムライン運用における認識の共有と習熟を高めることを目的として、運用訓練を実施しました。

【実施日時】 令和6年7月9日(火)13:00～16:30

【開催形式】 オンライン形式(Microsoft Teams) ・ 一部対面形式

【参加機関】 むかわ町、室蘭開発建設部、室蘭地方气象台、北海道胆振総合振興局、むかわ町社会福祉協議会、胆振東部消防組合、鷓川土地改良区、鷓川農業協同組合、とまこまい広域農業協同組合、北海道森林管理局 胆振東部森林管理署、北海道警察札幌方面 苫小牧警察署、陸上自衛隊 第7師団第7特科連隊 第2特科大隊、東日本電信電話株式会社 北海道事業部、北海道電力株式会社 日高水力センター、北電ネットワーク株式会社 富川ネットワークセンター

計 15機関 59名

開 会

(むかわ町情報防災対策室 梅津室長)

「河川増水が起こりやすい時期である7月から9月の出水期に向けて、参画機関でタイムラインの習熟を高めることを目的に、短い時間ではあるが、関係機関の皆様にとっても有意義な訓練となるよう、取り組んでいきたいと思う。今後いざという際には、住民の皆様や各産業への影響が最小限で止まるよう、我々機関全体で協力をして、防災対応をしていきたいと思うのでご協力をお願いしたい。」



梅津室長

訓練の実施

気象予測の状況を踏まえ、タイムラインステージが2へ移行された段階から訓練を開始し、訓練シナリオに沿って付与される状況や発表情報を訓練用の情報共有サイトで確認しながら、タイムライン表の記載内容に基づき、各機関毎に行った対応を記録するとともに、タイムラインを運用する上での必要な情報を情報共有サイトのメッセージに記載し共有を図りました。

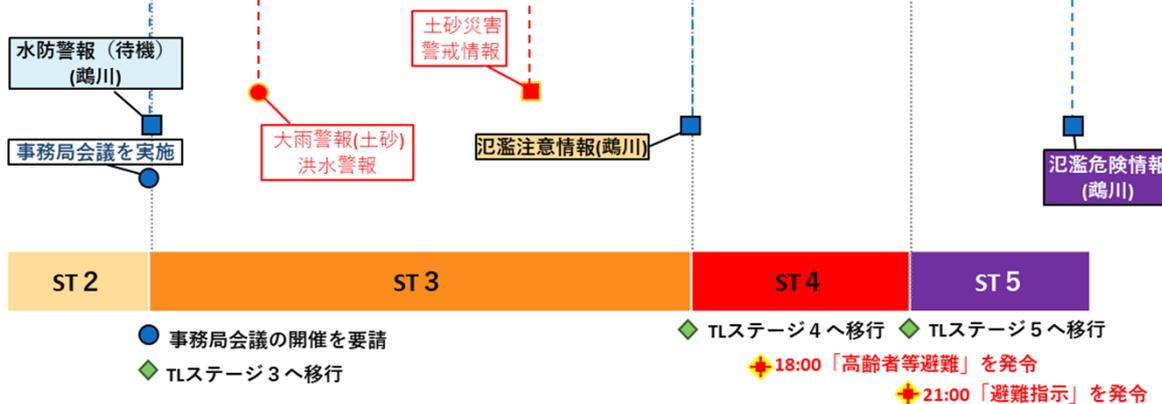
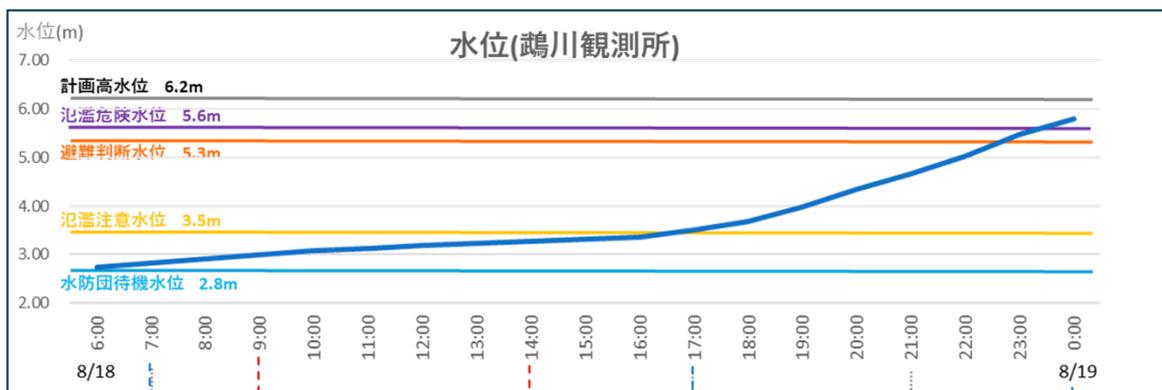
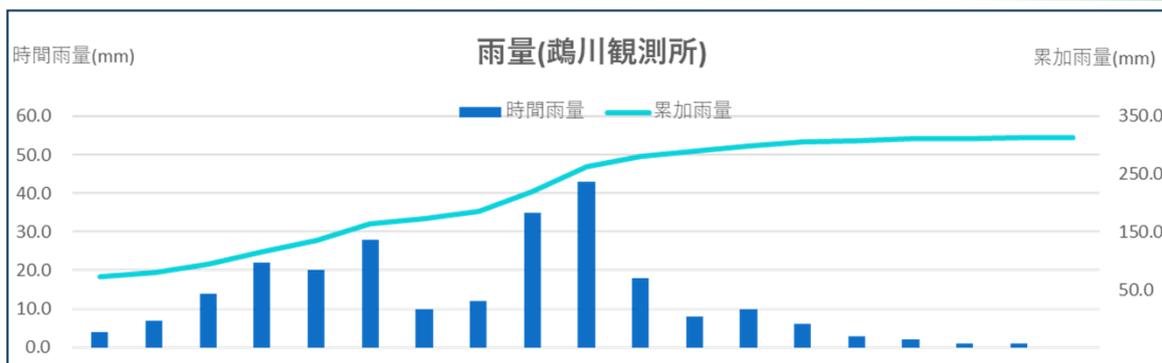


訓練の様子(むかわ町災対本部)



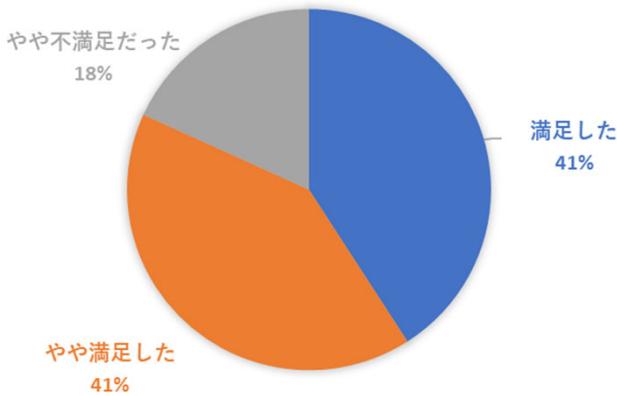
訓練の様子(オンライン画面)

訓練シナリオとむかわ町意思決定の結果



訓練アンケート結果

運用訓練について



満足・やや満足と答えた理由(回答より一部抜粋)

- ・ 水害タイムラインを用いた実際の災害対応の流れを確認する事ができた
- ・ 各関係機関の災害発生時の対応内容がわかり、今後の災害対応の参考になった
- ・ 台風前に、改めて手順等を確認することが出来、勉強になった

やや不満足と答えた理由(回答より一部抜粋)

- ・ 周りの動きが見えづらかった
- ・ 実際の動きがなかったため、情報の流れの把握のみであったため

訓練で良かったところ(回答より一部抜粋)

- ・ 初めての参加だったが、メッセージでの各所からの情報共有は大変便利だと感じた
- ・ 自治体での避難タイミング、方法などが知れる訓練で良かったと思う
- ・ 他の機関の行動内容やむかわ町の意思決定手順が確認できて良かった
- ・ 横の連携が確認できたことと、情報共有サイトで全体の流れが見えたこと
- ・ 町役場の方がリーダーシップを発揮していただいたこと

訓練で改善したほうがよいところ(回答より一部抜粋)

- ・ 実際に想定される町や関連機関の被災情報を増加させて自治体の行動確認や関連機関との協議など実践的な事例を増やしたほうが良い
- ・ 浸水の恐れのある避難所もあることから時間帯を考えると2次避難の判断なども想定した訓練も今後取り入れると良い
- ・ 本訓練はステージ5(氾濫危険水位超過)に移行した段階で訓練が終了したが、将来的には自衛隊等の防災関係機関が本格的に活動を開始するステージ6における訓練を連携強化の観点から実施できれば良い
- ・ 一部機関が対応中で、他の機関が何をしているか理解できない時間があったため、進行役が各機関に対して伝達するなどの工夫が欲しい。他の機関が何について検討しているのかを把握することも今後の災害対応の参考となるため共有して欲しい

アドバイザーより講評

(黒木アドバイザー)

「(避難所の運営に関して今年1月の能登地震を例に)市町村には備蓄品の管理から避難所へ避難してきた方たちのプライバシーへの配慮、マスコミへの対応等に至るまで多くの労力が必要となることから様々な対応について平時から検討しておくことが重要である。また道路の通行止めの対応における注意点や実際の状況を想定した計画について平時から議論しておくことが必要である。」

(志田アドバイザー)

「訓練を通して見直しが必要な部分に気づくことが大切。実際の場面を想定しながら、この状況でこれに対応するのは難しいかもしれない。逆にこれに対応しておかないとまずいことになる、など様々なことに考えを巡らせながら訓練に参加していただければ、実際の時の対応がもっと良くなっていくと思う。いつかこういう事態が起きると思ってこれからも訓練に取り組んでいただきたい。」



黒木アドバイザー



志田アドバイザー